



## データベースレコードに値を代入する

TNTgis は図形オブジェクト (ベクタ・シェイプ・ CAD) に対して、指定した固定の値や他のテーブルの フィールドからコピーした値を使って、データベース テーブルの一連のレコードのフィールドにデータを代入 するための処理を備えています。この処理は、既存のレ コードのフィールドや、表示中の選択要素やアクティブ (最後に選択した)要素に対して新規レコードを作成する 際に適用することが出来ます。この処理により、任意のタ イプの数値や文字フィールドに値を代入することが出来ま す。また、「データベースレコードに値を入れる」処理を 使って、新たに追加した自動インメントフィールドに一連 のシーケンシャルの整数値を代入することが出来ます。数 値処理や文字処理フィールドの場合、表示される値がソー スフィールドから動的に読み込みや計算されますが、「デー タベースレコードにデータを入れる | 処理では、指定した フィールドやレコードの中に実際の値を書き込みます。必 要であれば後でこれらの値を手動で編集することが出来ま す。

🛠 PA_US_Highways \ Line \ PA_US_6 🛛 🖃 🔲 🔀								
Table	Edit	Record Field	H	lelp				
□ 🖌 1 k	$\cdot$	New	P	No Atta	chnent			
Style	RT_N(	Populate Existing	Records	Attach ·	to Active	Element		
	0006	Select Elements		Attach	to Marked	Elements		
L'!	0006	Unselect Elements		Attach :	to Active	Element	and Populate	
	0006	Toggle Elements		Ottach	to Mankad	Elemente	and Perulate	
	0006	0	T	nctach	to narked	Elements	anu roputate	

データベーステーブルウィンドウの [レコード (Record)] メニューのオプションを 使って、テーブルのレコードのフィールドにデータを代入することができます。 既存のレコードのフィールドにデータを代入するには、[既存レコードにデータを 入れる (Populate Existing Records)]を選択します。〈データベースレコードにデー タを入れる〉ウィンドウ(下図)は、画面の中でリレートやアタッチされた図形要 素を選択している時、[レコード]>[新規作成 (New]]を選択して、サブメニュー から [アクティブ要素にアタッチしてデータを入れる (Attach to Active Element and Populate)]または [選択した要素にアタッチしてデータを入れる (Attach to Marked Elements and Populate)]を選択した時にも現れます。

注意:1対1のアタッチメントタイプ(各要素につき1レコードかつ各レコード につき1要素)の図形要素テーブルの場合、複数選択した要素にアタッチした新 規レコードを作るという操作によって、選択要素それぞれに対する個別のレコー ドが自動で作られます。〈データベースレコードにデータを入れる〉ダイアログを 使って、それらの要素にアタッチまたはリレートされたレコードを持つテーブル から、新規レコードの指定したフィールドにデータを代入することが出来ます。

既存のフィールドの値を使ってフィールドにデータを代

入するには、データを代入するレコードを持つテーブルが、図形要素に直接アタッチしたレコードを持っている必要があります。 また、ソーステーブルは、同じ要素のデータベースのうちの別のテーブルであり、要素に対して直接または間接的にアタッチされ たレコードを持っていなければなりません。

「データベースレコードにデータを入れる」操作を使うには、目的のデータベーステーブルのテーブル表示を開きます。既存の レコードのフィールドにデータを代入するには、[レコード]>[既存のレコードにデータを入れる]を選びます。表示ウィンドウ 中のアクティブ要素や選択要素に対して、新規レコードを作成するのと同時にフィールドへ自動入力するには、[レコード]>[新 規作成]の次に、[アクティブ要素にアタッチしてデータを入れる]または[選択した要素にアタッチしてデータを入れる]を選 択します(このページの上の右端の図をご覧ください)。〈データベースレコードにデータを入れる〉ウィンドウ(下図)が開きま す。このウィンドウの[フィールド名(Field Name)]と[タイプ(Type)]列に、テーブル中の全てのフィールド名とデータタイプ

がリスト表示されます。[条件 (Condition)] 列には各データ ベースフィールドについてメ ニューを制御する項目が含まれ ており、ここでフィールドに新 規の値を代入する条件を設定し ます。デフォルトの設定の[行 わない (No)] は、フィールドに 新規の値を書き込まないこと を意味します。 (続く)

🔧 Populate Database Records				🖎 Populate Database Records						
Field Name	Туре	Condition	Hethod	Yal	Field	Nane	Туре	Condition	Method	Yalue
RT_NO JURIS LENGTH_M YR_BUILT YR_RESURF TATAI LITATH	Text Integer Number Integer Integer Toteger	Never Never Alu Never Alu Never If Never V	ver Jays Empty		RT_NO JURIS LENGTI YR_BUJ YR_RES TOTAL, LANE_C STREE	i_m CLT SURF "AIDTH CNT [_NAME	Text Integer Number Integer Integer Integer Integer Text	Always V Never Never Never Alw Never If Never If Never If	Field ▼ er ays Null Zero Null or a	PaStateRoads2013_02.ST_RT_NO -

フィールドへの値の代入を始めるには、まず [条件 (Condition)] 列の欄の上で左クリックしてメニューをポップ アップさせます。[いつでも (Always)] を選択して、既存の値を入れ替えるか、条件の項目のいずれかを選択し ます (テキストフィールドの場合は [空ならば (If Empty)]、数値フィールドの場合は [ヌルならば (If Null)]・[ゼ ロならば (If Zero)]・[ヌルまたはゼロならば (If Null or Zero)])。

😾 Populate Database Records	🗏 Select Table/Field 📃 🗆 🔀	🗏 Populate Database Records	
Field Name Type Condition Method Value   RT_NO Text Rluags ▼ [specify] ▼   JURIS Integer Never ▼ Constant   LENGTH_H Number Never ▼ Field   %RbUILT Integer Never ▼ Field   続けて、[手法(Method)]列のフィー ル レ	Table Field   Taternal ST_RT_NO   PaStateRoads2013_02 URESTATS   ULNESTATS JURIS   PA_US_Highways SEG_NO   Selection PaStateRoads2013_02, ST_RT_NO	Field Name Type Condition Method Value   RT_NO Text Always ▼ Field ▼ PaStateRoads   JURIS Integer Always ▼ [specify] ▼   LENGTH_M Number Never ▼ Constant   YR_RESUFF Integer Never ▼ Field	2013_02.ST_R1
「手法」メニューの「フィールド (Fir Table/Field)〉ウィンドウが開きます ブルやフィールドを選ぶことが出来: スレコードに値を入れる〉ウィンド	uk <u>Lance</u> u Help eld)]を選ぶと、〈テーブル / フィールドの で。現在のフィールドの値のソースとして ます。選択した [ テーブル . フィールド ] は かの [ 値 (Value)] フィールドに表示されま	[手法]メニューから[固定値 (Consta [手法]メニューから[固定値 (Consta D選択 (Select ぶことで、[値 (Value)]列に編集可能 関連するテー ルドを作り、フィールドに希望の数値 〈データベー ト文字列を入力することが出来ます。 す。	int)] を選 なフィー やテキス
Field Name     Type     Condition     Method     Value       RT_NO     Text     Rlways +     Field +     PaStateRo       JURIS     Integer     Never +     LEKGTH_M     Nunber     Never +	Ads2013_02_ST_RT_NO	le Database Records	

(翻訳)株式会社 オープン GIS 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14 紀伊国屋ビル 1F Tel: (03)3623-2851 Fax: (03)3623-3025 E-mail: info@opengis.co.jp ー方、[いつでも (Always)] 設定では、フィールドの既存の値 に関わらず新規の値を書き込むことになります。その他の [条 件 (Condition)] オプションでは、既存の値に応じてフィールド に新規の値を代入することができます。テキストフィールドに 対して [空ならば]、数値フィールドに対して [ヌルならば]、 [ゼロならば]、[ヌルまたはゼロならば]を選ぶことが出来ま す。自動インクリメントフィールドの場合、選択肢は [行わな い (Never)] と [ゼロならば] になります (テーブルに自動イン クリメントフィールドを追加する際、既存のレコードに入る初 期値は "0")。

フィールドの [条件] メニューで [行わない] 以外の値を設 定すると、[手法 (Method)] 列のフィールドの欄がアクティブ になります。この欄のメニューから、[フィールド](フィール ドに他のデータベースフィールドの値を代入する)または、「固 定値 | (各フィールドに固定の値を書き込む)を選ぶことが出来 ます。[フィールド]オプションを選択することで、<テーブ ル/フィールドの選択>ウィンドウが開き、ソーステーブルと フィールドの選択を行うことが出来ます。[固定値]を選ぶこ とで [値]列に編集可能なフィールドが作られ、希望の値を入 力することが出来ます(前のページの一番下の図をご覧くださ い)。自動インクリメントフィールドの場合、選択肢は[フィー ルド ] または [ シーケンシャル ] です。後者のオプションは、 1 で始まるシーケンシャルの整数値のセットをフィールドに代 入します。フィールドの値はレコードがテーブルに格納された 順になります(現在のテーブル表示で並んでいるレコードの順 番になるとは限りません)。

他のテーブルからの値を使ってフィールドにデータを代入 する時、最良の結果を得るためには、ソースフィールドとター ゲットフィールドが同じデータタイプを持つ必要があります。 それらが異なるデータタイプを持つ場合、「データベースレコー ドにデータを入れる」処理はデータを制限の範囲内に自動変換 します。例えば、ソースが数字を含む文字フィールドでター ゲットが数値フィールドの場合、ターゲットフィールドの中で ソースの文字列は数値に変換されますが、ソースフィールドの 数値以外の文字は変換の際に取り除かれます。ソースの数値は 必要に応じて自動で文字に変換されますが、今のところ文字の フォーマットに対する制御機能はありません。

画面上で選んだアタッチ済みの要素を持つレコードに値を 代入する際、その複数選択要素が全ての要素を含まない場合 は、<データベースレコードにデータを入れる>ウィンドウの

Field Name	Туре	Condition	Method	Yalue	
SYMBOL	Text	Never 🔻			
NAME	Text	Never 🔻			
ACRES	Integer	Never 🔻			
AI	Auto-increment	If Zero 🔻	[specify]		
⊲				Sequential	
Apply to					
□ All records (47)					

既存のレコードを持つテーブルに自動インクリメントフィールドを追加 して、シーケンシャルの整数値を代入するには、[条件]フィールドメ ニューから[ゼロならば (If Zero)]を選択して、[手法]フィールドメニュー から[シーケンシャル (Sequential)]を選択します。

🕏 Populate Database Records 📃 🗖 🔀						
Field Name	Туре	Condition	Method	Yalue 🛛		
RT_NO	Text	Always 🔻	Field 🔻	PaStateRoads2013_02.ST_RT_NO -		
JURIS	Integer	Always 🔻	Constant 🔻	1		
LENGTH_M	Nunber	Always 🔻	Field 🔻	LINESTATS,Length 🔻		
YR_BUILT	Integer	Always 🔻	Field 🔻	PaStateRoads2013_02.YR_BUILT 🔻		
YR_RESURF	Integer	Always 🔻	Field 🔻	PaStateRoads2013_02.YR_RESURF 🕶 📘		
TOTAL_HIDTH	Integer	Always 🔻	Field 🔻	PaStateRoads2013_02.TOTAL_WIDT 🔻		
LANE_CNT	Integer	Always 🔻	Field 🔻	PaStateRoads2013_02.LANE_CNT 🔻		
STREET_NAME	Text	Always 🔻	Field 🔻	PaStateRoads2013_02.STREET_NAM 🕶		
TRAF_RT_NO	Text	Always 🔻	Constant 🔻	US		
TRAF_RT_N1	Text	Always 🔻	Field 🔻	PaStateRoads2013_02.TRAF_RT_N1 V		
TRAF_RT_N2	Text	Always 🔻	Field 🔻	PaStateRoads2013_02.TRAF_RT_N2 -		
<u>الم</u>				751		
				OK Cancel		

〈データベースレコードにデータを入れる〉ウィンドウ。全てのフィール ドを含みます。フィールド中の既存の値の有無に関わらず、処理を行う ように設定されています ([条件] 列で[いつでも] が設定されています)。

下部で処理の対象とするレコードを選択できます。[適用 (Apply To)] パネルには、[すべてのレコード (All records)]、[複数選 択された要素にアタッチされたレコード (Records attached to marked elements)]、[アクティブ要素にアタッチされたレコー ド (Records attached to active element)] という選択肢が表示

されます。括弧()の 中に各オプションに対 するレコード数が示さ れます(右の図をご覧 ください)。アタッチ された全ての要素が選 択されている場合、全 てのレコードに対して 操作が自動で適用され ます。

-Apply to	
🗍 💭 All records 🕻	21938)
🗍 🗇 Records attack	hed to marked elements (5)
💭 Records attack	hed to active element (1)

幾つかの(全てではない)アタッチされた要素が画面の中で選択されている場合、 〈データベースレコードにデータを入れる〉 ウィンドウで、処理する対象のレコードを選ぶことが出来ます。

